



2008.6

No. 173

毎月5日発行 定価1部10円(組合員の購読料は組合費を含む)  
1996年3月8日第三種郵便物許可

MONTHLY

# れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会 発行責任者 村田 仁  
〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

## 第3回政策委員会を開催

国政への「要求と提言」策定に向け素案を提示

連合北海道は5月22日札幌市内で2008年度第3回政策委員会を開催して、来年度の政府予算に関する「要求と提言」の素案を提起し、本格的な論議をスタートさせた。また、第二部の学習会では衆議院議員の逢坂誠二さんを講師に招き、国会と地方財政の現状に関する講演をいただいた。

### 「STOP! THE格差社会」実現する新政権と政策めざす

委員会の冒頭、村田政策委員長は、「連合北海道は新体制のもとで半年たち後半を迎えた。この間、08春季闘争、道政への政策要求、原油高騰対策、地域医療、在日米軍の千歳移転訓練、夕張市民生活サポートセンター、非正規センターなど矢継ぎ早に様々な課題に取り組んできた。5月26日から「STOP! THE格差社会」キャンペーン全道キャラバン、6月から地域医療を守るための世論喚起に向けた運動を進める」とし、これまでの産別・地協のご協力に感謝するとともに、引き続きの協力を要請した。また、支持率20%を切る福田内閣には、後期高齢者医療制度をはじめ国民のための改革・改善はできないとし、民主党中心の新しい政権をめざして、6月30日の地方委員会では「秋の陣」を想定した具体的取り組み方針を提起したいと述べた。

続いて中村総合政策局長から2009年度政府予算に関する「要求と提言」素案の説明と今後の取り扱いについて提起された。素案は6月16日まで各産別・地協からの意見をアンケートなどで募集し、それらを踏まえて次回6月20日の第4回政策委員会に原案を示すこととしている。なお、ご意見を募集中の「要求と提言」素案はこちらを参照されたい。

またこの日の委員会では、次期総選挙に備える民主党北海道の政策として、11項目の地域課題をまとめた「衆議院選挙に係わる北海道重点政策」の素案が報告された。

### 正常な機能を取り戻した国会

第二部の学習会では民主党が第一党に躍進した昨年の参議院選挙以降、与野党勢力が拮抗する国会情勢や、



小泉改革により一層悪化した地方財政の現状について、逢坂誠二さんに講演して頂いた。

逢坂さんは「ねじれ国会」と言われる今の状況は、むしろ国民の目線で政策議論が可能になり、障害者自立支援法や後期高齢者医療制度、大規模農家優遇の品目横断対策の見直しの動きにつながったと指摘。とくに道路特定財源については、ルールの2倍近い税金を課している租税特別措置法の問題を国民が知ることになったことで、一般財源化への光が見えてきたとし、「国会で議論するという正常な機能を取り戻した」と評価した。そして今回の議論から見えたことは、お金と制度を通じて地方を縛る厳然とした中央集権体制であり、逢坂さんは、これを何としても打破し国民本位の分権社会を実現したいと強調した。

地方財政について逢坂さんは三位一体改革によって逼迫する地方自治体に対し、国レベルでは「打ち出の小槌」のようにお金が使われている驚くべき現状を説明し、このようなやり方を改め、国から地方への財源移譲を進めるべきであると訴えた。

この記事のアドレス [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/monthly\\_new\\_2008\\_0522\\_seisakui inkai\\_3rd.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/monthly_new_2008_0522_seisakui inkai_3rd.html)

## 『ストップ・ザ・格差社会！反貧困全道キャラバン』 全道6ブロックで一斉に実施



連合北海道は、パート・契約・派遣労働者の格差を是正し、医療・介護難民やワーキングプアを解消し、すべての勤労難民が安心して暮らせる福祉社会の実現を図るため、5月26日から29日までの4日間、全道6ブロックで一斉に全道キャラバンがスタートした。

石狩・後志ブロックのキャラバン隊は、26日午前8時45分、道庁北門前で「許すな！雇用と地域の格差拡大」と銘打ったキャラバン出発集会を開催した。

集会では、主催者を代表して連合北海道村田事務局長の挨拶の後、中村キャラバン隊長（総合政策局長）より、非正規労働者の格差問題と医療提供体制の確立を訴えるキャラ

バン行動の趣意と決意表明がなされた。

集会終了後キャラバン隊一行は、札幌市長、札幌市議会議長及び札幌商工会議所会頭へ、要請し、札幌市内を車で市民に訴えて廻った後、午後には石狩市長、石狩市議会議長及び石狩商工会議所会頭へ要請行動を実施した。

要請場面では、何れの機関も連合北海道の要請趣旨は十分理解するとし、可能な限りの協働行動を展開したいとした。とりわけ札幌市上田市長は市場経済主義偏重の現況は大いに疑問があるとして、「労働者が大事にされない仕組みの中では、明るい将来は望めないのではないか」とした。

17時30分からは石狩市役所前で石狩地区集会を開催し、雨中72人の参加者と共に格差の解消と労働を中心とした福祉型社会の早期形成を決議し、初日の行動を終了した。

キャラバンの各コースは、1.石狩・後志2.渡島・桧山3.空知・胆振・日高4.上川・留萌5.宗谷・網走6.十勝・釧路。

この記事のアドレス [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/monthly\\_new\\_2008\\_0526\\_caravan\\_stopthe.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/monthly_new_2008_0526_caravan_stopthe.html)

## プルサーマル計画について申し入れ 道と北電に住民説明会の開催など求める

連合北海道は5月7日、北海道電力が泊原発3号機で実施を目指すプルサーマル計画について、地元4ヵ町村だけでなく広く道民の声を聞く住民説明会の開催、技術内容などの情報開示と説明責任、住民の安全確保などを求め、道と北海道電力に対し申し入れを行った。

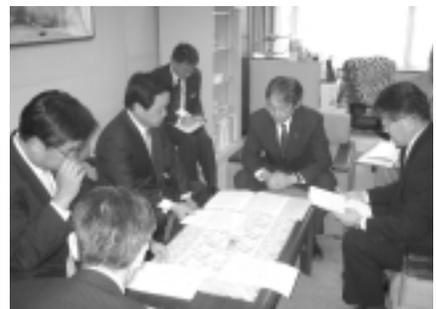
### 広く道民の意見を聞く場を設けていきたい

道への申し入れでは、対応した伊東・危機管理監は、「道としても広く道民の意見を聞く場を設けていきたい」と前向きな姿勢を示すとともに、情報公開と安全確保についても「協定をふまえ、求めていきたい」と述べた。また、村田事務局長が今後のスケジュールについて質したのに対して、伊東・危機管理監は「ひらかれた議論を行って、理解してもらうことが最優先。いつまでとは言えない」と、慎重な取り扱いをしていく考えを述べた。また、武田副事務局長が地元4ヵ町村以外での説明会の開催について、あらためて考えを求めたのに対し、伊東・危機管理監は「地元と全道的なものを同時並行で進行して行くのではないかと述べるとともに、「議論がすすんだ時点で再度開催したい」と複数回の開催を考えていることを明らかにした。

### 地元以外でも説明会の開催を検討

一方、事業者の北海道電力では常務取締役の大内全発電本部長が地元4ヵ町村での説明会について「5月24日に泊・岩内、25日に神恵内・共和で開催する予定」と具体的な日程を明らかにするとともに、情報開示と説明責任につい

ては「あらゆる機会を通じて地元や道民に対する理解活動に取り組んでいく」と述べた。また今後の手続き等については、「できるだけ早く理解がいただけるよう努



めていく」ことを大前提に、了解の後には国に原子炉設置変更許可申請を行い、国の許可後はMOX燃料（ウランとプルトニウムの混合燃料）を製造し、原子炉へ装荷すると説明した。

地元4ヵ町村以外での説明会の開催について村田事務局長が求めたのに対し、大内発電本部長は「どこで、どう開催するか地元の説明会後に、北海道と相談していきたい」との考えを明らかにした。

プルサーマルについて連合北海道は今年1月の第6回「連合北海道エネルギー・環境政策委員会」で、情報公開・安全確認・説明責任を道や事業者に対して求めていくとのまとめを行っている。

今回の申し入れはこの「まとめ」をふまえたもので、今後も道や事業者の取り扱いを継続的に点検、検証していくこととする。

この記事のアドレス [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/monthly\\_new\\_2008\\_0507\\_plu-thermal.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/monthly_new_2008_0507_plu-thermal.html)

## プルサーマル実施に向けての 事前協議申し入れに伴う事務局長談話

連合北海道事務局長 村田 仁

北海道電力は4月18日、泊発電所3号機におけるプルサーマルの2010年度実施を目指し、北海道ならびに泊村・共和町・岩内町・神恵内村へ「泊発電所周辺の安全確保および環境保全に関する協定（安全協定）」に基づく事前協議の申し入れを行った。

連合北海道は、政府のエネルギー政策に基づくプルサーマル計画・核燃料サイクル計画の問題について、エネルギー・原発問題に対する連合北海道のこれまでの対応方針（原発は過渡的エネルギーであり、安全確保を大前提に情報公開、環境監視、防災対策の強化を求める）及び連合本部のエネルギー政策（原発はエネルギー安定供給のために重要なエネルギー源であり、かつCO<sub>2</sub>削減に有効な手段であると位置づけ、その利用にあたっては実効性ある、より厳密な安全確保体制の再確立と情報公開を前提とし、国民の信頼回復・維持に努める）と基本認識をふまえ、エネルギー・環境政策委員会において、2006年9月から2007年10月にかけて5回に渡る学習会と六ヶ所村核燃料サイクル施設の視察を実施してきた。

プルサーマル計画・核燃料サイクル計画に対するエネルギー・環境委員会の基本認識は、現段階において、エネルギー政策を取り巻く状況は急激に変化しており、新しい課題も提起され、エネルギーセキュリティーは国家的な最重要課題の一つであることは認識しつつも、個別具体的問題については、なお構成産別間で意見が分かれ一義的に判断できない内容も多いため、今後とも慎重に論議を行う必要がある。また、国や事業者に対しては、プルサーマル計画や核燃料サイクル計画に係る安全体制の確立、技術内容などの情報開示と説明責任を果たすべく最大限の努力を払うよう求めていることとした。

したがってこの度、北海道電力のプルサーマル実施にむけての「事前協議の申し入れ」については、北海道及び北海道電力に対して、広く道民の意見を聞く説明会の実施、泊原発3号機におけるプルサーマル技術内容などの情報開示と安全体制の確立など、説明責任を果たすべく最大限の努力を払うことを求めている。

この記事のアドレス [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/danwa/2008/danwa\\_080425\\_plu-thermal.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/danwa/2008/danwa_080425_plu-thermal.html)

## 全道勤労者総合文化祭への出展作品募集中

本年も全道勤労者総合文化祭が7月9日(水)～13日(日)の期間で開催されます。現在、出展作品を募集中ですので、多数応募願います。

### 【応募資格】

他の公募展に出品した作品を除く  
道内居住者に限る

### 【募集作品】

絵画 / 油絵・日本画・水彩・版画問わず一人2点以内  
100号以下で額縁に入れる  
彫塑 / 等身大以下、一人2点以内  
書 / 裱装又は額装の全紙版以内、一人2点以内  
写真 / キャビネ以上・Y四ツ切・四ツ切以内、一人3点以内  
手工芸 / 人形・陶芸・彫金等々創作性のある全ての作品、一人2点以内  
イラスト・ポスター・漫画 / 一人2点以内  
詩・短歌・俳句・川柳 / 詩は20行以内  
短歌・俳句・川柳は一人3首・3句、色紙又は短冊に毛筆書(楷書の原稿を同封)  
生花・盆景・魚拓 / 一人1点

### 【受付日時と場所】

6月28日(土) 午後1時～午後5時  
29日(日) 午前9時30分～午後5時  
30日(月) 午前9時30分～午後1時

全道勤労者総合文化祭実行委員会  
(札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル3F)



※申込票及び出品票が必要ですので、詳しくは全道勤労者総合文化祭実行委員会へお問い合わせ願います。

☎011-261-0020

## 特別企画

～ 炭鉱坑内見学ツアーのお知らせ～

## 海底炭鉱の坑内に入坑してみませんか

## 日本でたった一つの坑内炭鉱「釧路コールマイン」へ

皆様にご協力頂いています「北海道炭鉱遺産ファンクラブ(炭鉱ナビ)」が、『釧路コールマイン』への炭鉱見学ツアーを企画しています。

『釧路コールマイン』は、現在、日本で唯一残されている坑内掘炭鉱で、坑内への入坑見学は、他では経験できない貴重な体験となります。20名限定の特別企画にぜひご参加ください。

**出発日** 札幌発着/2008年6月29日(日)～30日(月)  
(1泊2日・入坑日は30日(月)午前中)

**募集人員** 20名(男女共参加できます。歩行困難な方と小学生は坑内へ入れません)

**旅行代金** 25,800円(ツイン利用) (シングル利用は500円増)

【問い合わせ】炭鉱(やま)ナビ事務所 / TEL011-717-0291(AM10:00～PM4:00)

【ホームページ】<http://www.tankouisan.com>



## 6月の主な動き

地域医療確立・後期高齢者医療制度廃止を  
求める街頭宣伝・署名行動

3日(火) 11:00～4日(水) / 大通3丁目

労働審判員 個別労使紛争解決基礎研修

3日(火)～6日(金) / KKR

組織・財政特別委員会

4日(水) 13:30 / ガーデンパレス

ユニオンスクール

6日(金) 18:30 / 自治労会館

企画会議

9日(月) 10:00 / 連合北海道会議室

中小・パート労働条件委員会

11日(水) 15:00 / 連合北海道会議室

中小労働研修会交流集会

13日(金) 15:00 / 函館市

男女平等講座(男性リーダー対象)

14日(土) 10:00 / 自治労会館

男女雇用機会均等法集会

14日(土) 13:30 / 自治労会館

ボランティア講座

14日(土) 10:00 / 当別町

政策委員会

20日(金) 13:30 / センチュリーロイヤルホテル

常駐者会議

23日(月) 10:00 / 連合北海道会議室

地協専従者懇談会

25日(水) 16:00 / 北見市

第9回執行委員会

27日(金) 10:30 / 連合北海道会議室

## イベントカレンダー

毎回大好評の組合員特別優待クーポン誌

## ゆに・ぽん

夏休み版 6月下旬配布予定!

道内のアミューズメントや  
ホテル、ロッジなどが特別価格  
で利用できます。

これからの旅行シーズンに  
ぜひお役立てください。



## 第38回地方委員会

日 時 / 6月30日(月) 13:30～

場 所 / センチュリーロイヤルホテル

議 題 / 春季生活闘争中間まとめ(案) 他

## 労働なんでも相談ダイヤル

6月6日(金)・7日(土) 9:00～

☎0120-154-052 ☎0120-090-050